

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	木村 直人 先生 (病気治療の達人)
実施校	春日井市立高森台中学校
実施日	平成21年2月10日(火)
実施学級	3年1組・2組・3組・4組(131名)
授業の実際	 <p>1 担任による達人の紹介。モンキーセンターの獣医さんであることを話す。 2 担任(T1)が司会進行しながら、達人(T2)の説話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本モンキーセンターの紹介 ・ 達人の仕事、獣医師になるには 達人の仕事の喜びと苦労 ・ サルのからだについて サル骨格、自分の体について知る ・ 実話エピソード 体の不自由なチンパンジー「シノ」について 人工飼育、サル社会への復帰 ・ サルの社会から学ぶ「人間関係」「家族」「命」の大切さ <p>3 達人へ質問をする。</p>
生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 獣医の仕事を誇りに思って仕事をしている木村さんはとてもすごい思った。自分も将来仕事に就くなら、誇りに思える仕事に就きたいと思った。 ・ 私たちの命は、私たちがいただいてきた他の動物、植物の命である。その大切な命を「自殺」などという愚かな行為で簡単に無駄にすることはものすごく残酷で、あまりにも悲しすぎる。これからは、今以上に自分の命、人の命の重さを考え、大切にしていきたい。
教師の感想	<p>長年の獣医としての経験やサル社会の観察をもとに、興味深い話が聞けた。子どもたちには、「人間関係」「命」の大切さについてふりかえるよい機会になった。今後も達人の授業の継続を願う。</p>